

平成28年11月2日

第2回 八尾翠翔高等学校 学校協議会（報告）

委員（5名）の参加をいただき、本校教職員（4名）が同席し協議を行った。

主な質疑等については、以下の通りである。

① 第1回授業アンケートの結果より

第1回授業アンケートの結果について教頭より説明した。昨年度に比べて全ての項目でスコアが著しく上がっている。また、1年から2年3年と、学年が上がるに従って評価が高くなる傾向が見られ、十分満足のいく結果となっている。教科ごとの特徴を見ると、理科や社会で予習・復習の時間がやや少ないものの、体育や家庭など実技教科は満足度が高く、全教科でプリントを活用していることが分かった。

【意見・提言】

- ・プリントに頼りすぎると学力が定着しない。むしろ教科書を有効に活用し、模範となる問題や解答を反復して練習することを勧めたい。
- ・授業アンケートのスコアでは、2点台の評価については真摯に受け止めるべきだ。3, 5以上の授業は見ていてもやはり素晴らしい。
- ・自由記述の中で、授業の進み方が早いといったものが見受けられる。進むペースが早い先生が多いのか、進度が生徒に合っていないのか検証する必要がある。あるいは、1・2年までとは異なり、3年次は習熟度別授業から普通授業に戻ることが原因なのかも知れない。
- ・授業は厳しく、かつ分かり易いのが良い。

② 授業見学

若手教員を中心に、約30分程度の授業見学を行った。生徒が静かに落ち着いた環境の中で集中して授業を受けている姿に、委員から高い評価とともに、教授する側の熱心さについても好印象が与えられた。

③ 若手教員スキルアップ研修について

若手教員に対して独自に実施している、校内スキルアップ研修について教頭より説明した。内容は、学級経営や生徒対応など、事例に即したケーススタディで、若手教員が相互に知恵を出し合いながら、対応策を見出していくものである。

【意見・提言】

- ・不登校などは大学でもあり、これといった理由が見いだせない長期の欠席等は解決が困難だ。

- ・昨今問題となっている発達障がいなどは、高校生段階で判る場合が多い。授業についても、パワーポイントでの説明では理解できない生徒や、話しながら説明すると、途端に理解できない生徒もいることを前提に考える必要がある。

④ その他

その他に、以下の2つの報告を行った。

- ・9月18日に八尾市で行われた英語弁論大会で、多くの本校生徒が優秀な成績を修め、中には、将来の留学や進路選択に展望が広がる者も見受けられた。
- ・9月26日には、昨年本校生が海外語学研修でお世話になったオーストラリアのマランダ高校の一行が本校を訪れ、学校をあげて歓待した。各クラスにマランダ高校の生徒や先生を招き、相互に交流する中で、積極的なコミュニケーションを実現することが出来た。

【意見・提言】

- ・とても良い取り組みで、生徒にとって良い経験となっている。
- ・英語に対する意識をより高揚させるため、文化祭時に英語劇等を取り入れても面白いのではないか。